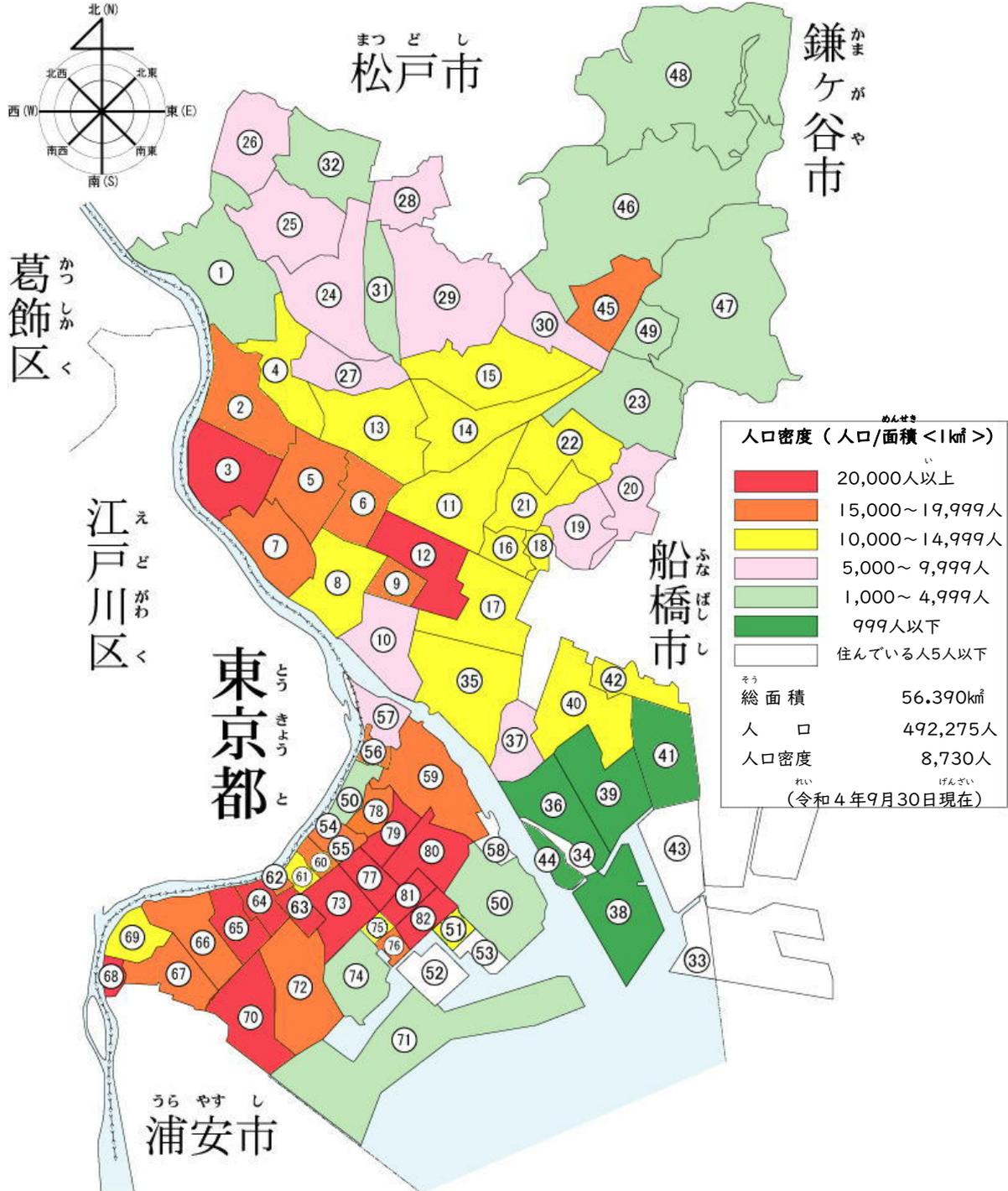


◆市川市の町名と人口密度

町名	町名	町名	町名
①国府台	⑭国分	⑳柏井町	㉓南行徳
②市川	⑮中国分	㉑大町	㉔塩浜
③市川南	⑯北国分	㉒奉免町	㉕福栄
④真間	㉑須和田	㉓本行徳	㉖行徳駅
⑤新田	㉒稲越	㉔加藤新田	㉗新浜
⑥平田	㉓曾谷	㉕千鳥町	㉘入船
⑦大洲	㉔下貝塚	㉖高浜町	㉙日之出
⑧大和田	㉕東国分	㉗関ヶ島	㉚末広
⑨東大和田	㉖堀之内	㉘伊勢宿	㉛本塩
⑩稲荷木	㉗東浜1丁目	㉙下新宿	㉜富浜
⑪八幡	㉘田尻	㉚河原	㉝塩焼
⑫南八幡	㉙田尻1～5丁目	㉛下妙典	㉞宝
⑬菅野	㉚高谷	㉜妙典	㉟幸
⑭東菅野	㉛高谷1～3丁目	㉞押切	
⑮宮久保	㉜高谷新町	㉟湊	
⑯鬼越	㉝原木	㊱湊新田	
⑰鬼高	㉞原木1～4丁目	㊲湊新田1～2丁目	
⑱高石神	㊱二俣	㊳香取	
㉑中山	㊲二俣1～2丁目	㊴欠真間	
㉒若宮	㊳二俣新町	㊵相之川	
㉓北方	㊴上妙典	㊶新井	
㉔本北方	㊵南大野	㊷島尻	
㉕北方町4丁目	㊶大野町	㊸広尾	

参考：
市川市役所資料

あなたの住んでいる地いきのようすはどうか？
ほかの地いきとくらべてみましょう。



◆市川市のうつりかわり

時代	明治時代				
年	一八七五 (明八)	一八八五 (明一八)	一八九五 (明二八)	一九〇五 (明三八)	一九〇七 (明四〇)
主なできごと		国府台に軍たいがおかれた (明治一九)	市川町・八幡町・行徳町・中山村・五常村(国分村)・大柏村・南行徳村がたん生した。 (明治二二)		
人々のくらし	このころ、さかえていたのは行徳のあたりだった。	行徳で塩作りが行われていた。中山が法華経寺の門前町としてさかえていた。	国分てぶどう作りがはじまった。 八幡で梨作りがさかんに行われていた。	南行徳でのりを作りはじめた。	市川に発電所ができ、真間と国府台で電とうがはじめてついた。
学校	中山小・南行徳小ができた。 (明治七)	中山小・国分小・大柏小・八幡小ができた。 (明治八)	中山小のもとになる学校ができた。 (明治九)	信篤小ができた。 (明治二九)	
そのほか(交通)	蒸気船が江戸川をとった。 (明治一〇)	東京と成田の間に乗合馬車がおった。 (明治一六)	市川と佐倉の間に、はじめて鉄道がしかれ市川駅ができた。 (明治二七)	江戸川橋(木の橋)ができた。 (明治三八)	京成電鉄がはじめて、江戸川と真間の間をとり、京成国府台駅と真間駅ができた。 (明治四三)
人口(人)					

<div style="text-align: center;"> <small>たいしょう</small> 大正時代 </div>	<div style="text-align: center;"> <small>しょうわ</small> 昭和時代 </div>
<div style="text-align: center;"> 一九一五 (大正四) </div>	<div style="text-align: center;"> 一九四五 (昭二〇) </div>
<p>大つなみで行徳・南行徳が大きなひがいをうけた。 (大正六)</p> <p>江戸川放水路ができた。 (大正八)</p> <p>関東大しんさいがおきた。 (大正一二)</p>	<p>国府台運動公園ができた。 (昭和二五)</p> <p>大柏村が市川市といっしょになった。(昭和二四)</p> <p>市川にも空しゆうがあった戦争がおわった。 (昭和二〇)</p> <p>太平洋戦争がはじまった。台風で真間川がはらんした。 (昭和一六)</p> <p>市川町・八幡町・中山町・国分村がいつしよになって市川市となった。 県内3番目(昭和九)</p>
<p>市川にはじめて水道がひかれた。</p>	<p>戦争によって家がやかれたり、こわされたりした人たちが東京からうつり住むようになった。</p> <p>行徳の塩作りがなくなった。</p>
<p>宮田小ができた。(昭和二五)</p> <p>市川・真間・中山・八幡・国分・南行徳の各小学校で学校給食を開始した。 (昭和二三)</p> <p>一中・二中・三中・四中・第五中のもとになる学校・第七中のもとになる学校が新制中学としてできた。 (昭和二二)</p> <p>昭和学院ができた。(昭和一五)</p> <p>真間小・日出学園ができた。 (昭和九)</p> <p>国府台女子学院ができた。 (大正一五)</p>	<p>国電本八幡駅と京成鬼越駅ができた。(昭和一〇)</p> <p>国電が両国と市川・船橋の間とおった。(昭和八)</p> <p>京成バスがはじめて国府台と船橋の間をとった。(昭和三)</p>
<p>人車鉄道がなくなった。(大正六)</p> <p>京成菅野駅、京成八幡駅、京成中山駅ができた。(大正四)</p>	<p>一〇〇〇〇〇 (昭和二四)</p> <p>八五〇〇〇 (昭和二二)</p> <p>五八〇〇〇 (昭和一五)</p> <p>四〇〇〇〇 (昭和九)</p> <p>三八〇〇〇 (昭和五)</p> <p>三〇〇〇〇 (大正一四)</p>
<p>一八八八八 (大正九)</p>	

時代	しょう わ 昭 和 時 代			
年	一九五五 (昭三〇)	一九六五 (昭四〇)	一九七五 (昭五〇)	
主なできごと	<p>行徳町が市川市といっしょになった。(昭和三〇)</p> <p>南行徳町が市川市といっしょになった。(昭和三一)</p> <p>台風で真間川があふれ真間や菅野がひがいをうけた。(昭和三二)</p>	<p>行徳海岸のうめ立てがはじまった。(昭和三四)</p> <p>アメリカのゲーテナ市と姉妹都市となる。(昭和三七)</p>	<p>終末処理場・市川考古博物館ができた。(昭 and 四七)</p>	<p>大野・大町で梨作りがさかんにおこなわれるようになった。</p> <p>行徳のうめ立て地に大きな工場がたてられるようになった。</p> <p>このころ国電の南がわの新田や大洲に工場がたてられるようになった。</p>
人々のくらし	<p>このころ新田でいちご作りがさかんにおこなわれていた。</p>			
学校	<p>平田小ができた。(昭和二八)</p> <p>若宮小・国府台小ができた。(昭和二七)</p> <p>富貴島小ができた。(昭和二六)</p>	<p>稲荷木小・鬼高小ができた。(昭和三一)</p>	<p>菅野小・第六中・市立ようご学校ができた。(昭和三二)</p>	<p>第七中ができた。(昭和三七)</p> <p>鶴指小・第八中ができた。(昭 and 四二)</p> <p>二俣小ができた。(昭 and 四五)</p> <p>宮久保小ができた。(昭 and 四三)</p> <p>新井小・南新浜小・大野小・東国分中ができた。(昭 and 五五)</p> <p>柏井小・大洲小・幸小・下貝塚中・福栄中・高谷中ができた。(昭 and 五四)</p> <p>富美浜小ができた。(昭 and 五三)</p> <p>百合台小ができた。(昭 and 五二)</p> <p>新浜小ができた。(昭 and 五〇)</p> <p>北方小ができた。(昭 and 四九)</p> <p>大町小ができた。(昭 and 四八)</p> <p>中国分小・曾谷小ができた。(昭 and 四七)</p>
そのほか(交通)	<p>武蔵野線が開通し市川大野駅ができた。(昭 and 五二)</p> <p>湾岸道路ができた。(昭 and 五三)</p> <p>総武線が複々線になり快速が走るようになった。(昭 and 四七)</p> <p>地下鉄東西線が開通し、行徳駅ができた。(昭 and 四四)</p> <p>京葉道路ができた。(昭 and 三五)</p>			
人口(人)	一三〇〇〇〇 (昭和三〇)	一四〇〇〇〇 (昭和三一)	一六〇〇〇〇 (昭和三五)	二六〇〇〇〇 (昭 and 四五)

昭和時代	平成時代	
<p>一九八五 (昭六〇)</p>	<p>一九九〇 (平二)</p>	<p>二〇〇〇 (平一二)</p> <p>二〇〇〇 (平一二)</p> <p>二〇一〇 (平二二)</p>
<p>中国の樂山市と友好都市になった。台風で須和田や東国分が大水のひがいをうけた。(昭和五六)</p>	<p>メデアパーク市川・市川市クリーンセンターができた。(平成六)</p> <p>インドネシアのメダン市と姉妹都市になった。塩浜体育館ができた。自然博物館ができた。(平成元)</p> <p>市川市文化会館・動植物園ができた。(昭和六〇)</p> <p>市民プール・少年自然の家・市川歴史博物館ができた。(昭和五七)</p>	<p>東京外かく環状道路が開通した。(平成三〇)</p> <p>東日本大しんさいがおきた。(平成二三)</p> <p>市川駅南口地区の再開発が完了した。(平成二二)</p> <p>ドイツのローゼンハイム市とパートナーシティとなった。大洲防災公園ができた。(平成一六)</p> <p>市川市リハビリテーション病院ができた。(平成一〇)</p> <p>阪神・淡路大しんさいがおきた。(平成七)</p>
<p>大野あたりに住たくやマンションがふえはじめた。</p> <p>根本排水機場ができた。</p>	<p>南行徳にも住たくやマンションができてきた。</p> <p>妙典にも住たくやマンションができてきた。</p>	<p>義務教育学校塩浜学園ができた。(平成二八)</p> <p>須和田の丘支援学校稲越校舎ができた。(平成二〇)</p> <p>第七中が新しくなり、保育・介護・公会堂施設がいつしよにできた。(平成一六)</p> <p>妙典小ができた。(平成一一)</p>
<p>塩焼小・稲越小・塩浜小ができた。(昭和五六)</p> <p>大和田小ができた(昭和五八)</p> <p>大洲中・塩浜中ができた。(昭和五七)</p>	<p>妙典中ができた。(昭和六三)</p> <p>福栄小・南行徳中ができた。(昭和六〇)</p>	<p>京成電鉄が北総線開発鉄道経由で成田空港につながった。(平成二二)</p> <p>地下鉄東西線妙典駅ができた。(平成一一)</p> <p>北総開発鉄道が開通し、北国分駅・松飛台駅・大町駅ができた。(平成三)</p> <p>京葉線が東京駅へ乗り入れるようになった。(平成二)</p> <p>地下鉄新宿線本八幡駅ができた。(平成元)</p>
<p>地下鉄東西線南行徳駅ができた。(昭和五六)</p>	<p>京葉線が開通し、二俣新町・市川塩浜駅ができた。(昭和六三)</p> <p>国鉄がJRとなった。(昭和六二)</p>	<p>地下鉄東西線妙典駅ができた。(平成一一)</p> <p>北総開発鉄道が開通し、北国分駅・松飛台駅・大町駅ができた。(平成三)</p> <p>京葉線が東京駅へ乗り入れるようになった。(平成二)</p> <p>地下鉄新宿線本八幡駅ができた。(平成元)</p>
<p>三七〇〇〇 (昭和五六)</p>	<p>四一〇〇〇 (昭和六二)</p>	<p>四八〇〇〇 (平成二九)</p> <p>四七〇〇〇 (平成一九)</p> <p>四六〇〇〇 (平成一四)</p> <p>四四〇〇〇 (平成六)</p>

時代	令和時代	
年	二〇二〇 (令二〇)	
主なできごと		
人々のくらし		
学校	小中一貫型小学校・中学校 信篤三つ葉学園がスタートした。(令和四) 小中一貫型小学校・中学校 東国分爽風学園がスタートした。(令和三)	
その他か(交通)		
人口	四九〇〇〇〇 (令和二)	